

平成25年度予算パブリックコメント対象事業一覧表

(単位:万円)

政策		施策	事業名	H24予算	H25要求	
1	環境と調和する都市の構築	1	循環型社会の形成	資源回収奨励事業	4,519.5	4,348.4
		2	人と地球にやさしい環境の創出	環境教育等推進事業	468.4	472.1
		3	水とみどりの保全と創出活用	保存樹木等指定事業	90.1	88.3
2	明日につながる産業の振興	1	都市型農業の推進	都市と農村交流事業	89.4	108.6
		2	工業の振興と産学官連携の推進	誘致企業補助金	1,648.2	530.0
		3	商業の振興	食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業	57.6	68.2
		4	就業環境の整備	雇用環境創出推進事業(就職希望者の就業支援事業)	180.0	281.7
3	安心を感じる保健・医療・福祉の充実	1	地域福祉の充実	民生委員連絡協議会補助金	935.5	935.5
		2	健康づくりの推進	救急医療対策事業	2,320.1	2,346.8
		3	子育て環境の充実	ファミリーサポート事業	489.1	493.4
		4	障がい者福祉の充実	重症心身障がい者(児)医療的ケア事業	246.2	246.2
		5	高齢者福祉の充実	高齢者・身障者世帯緊急通報システム設置費	890.2	886.4
		6	社会保障の充実	年末見舞金支給事業	1,344.3	1,457.5
4	安全で快適な都市生活の充実	1	安全な暮らしの確保	街路灯設置費補助金	979.2	1,543.2
		2	交通環境の充実	生活バス路線運行補助事業	691.9	393.0
		3	危機管理の強化・充実	災害対応物品整備事業	1,269.6	1,175.1
		4	市街地整備の充実	都市景観創出事業	32.3	96.0
		5	上下水道の整備	下水道事業会計繰出金	143,818.3	132,680.5
		6	電子情報化の推進	証明書コンビニ交付事業		1,206.8
		7	消防・救急の充実	火災予防推進事業	110.3	418.3
5	豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実	1	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	キャリア教育推進事業	51.0	70.2
		2	生涯学習の充実	家庭教育(青空こどもの広場)事業	68.4	71.9
		3	青少年健全育成の推進	子どもを見守る地域ふれあい事業	20.0	20.0
		4	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	市民芸術祭開催支援事業	140.0	160.0
		5	市民スポーツ活動の充実	地域スポーツ活動活性化促進事業	39.6	50.5
6	市民協働によるまちづくり	1	自助・互助・公助のまちづくり	市民協働推進事業	266.6	300.5
		2	男女共同参画社会の形成	男女共同参画啓発事業	114.4	161.6
		3	国内・国際交流の推進	小中学生国内交流研修事業	142.2	136.2
7	計画実現に向けて	1	効率的な行財政運営の推進	電子情報安全管理対策事業	58.7	66.6
		2	地方分権・広域行政の推進	広域行政推進事業	60.6	59.8
		3	開かれた行政づくり	ホームページ運営事業	64.6	779.1

(事業数 31)

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	1 環境と調和する都市の構築
施策	1 循環型社会の形成

事業名	資源回収奨励事業
担当課	生活環境部環境室減量推進課リサイクル係

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 再生資源である古紙類、びん類、金属類及び布類の回収の促進とリサイクル意識の高揚を図るとともに、ごみの排出抑制、並びにごみ収集及び処理コストの節減を目指し、再生資源の回収を行う団体等の活動を支援する。 再生資源の回収を行う団体及び回収業者に奨励金を交付する。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 再生資源の回収を行っている自治会等の団体を登録し、登録団体に対し回収した再生資源の重量に応じた奨励金を交付する。 再生資源の回収を行っている回収業者に対し、回収したカレットびん、その他びん、スチール缶、鉄くずの重量に応じた奨励金を交付する。 奨励金の申請受付と交付事務は、上半期(4月から9月回収分)と下半期(10月から3月回収分)に分け、年2回行っている。 平成23年度については、住民団体である自治会等207団体が8,156,935kgの再生資源を自主的に回収しており、市民の分別及びリサイクル意識の醸成、資源の有効利用、並びにごみ収集及び処理コストの節減に効果があった。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業は、再生資源回収の促進とリサイクル意識の高揚、ごみの排出抑制等に有効であることから、前年度と同様の年2回の交付事務により、再生資源の回収量に応じて団体及び回収業者に奨励金を交付する。広報紙、ホームページ等で既実施団体に対する啓発、及び新規登録団体の募集を行い、さらなる回収促進を図る。 平成25年度事業費 実施団体奨励金24,676千円 回収業者奨励金18,680千円

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
非常勤職員報酬	169.9	173.0		173.0		
資源回収取引伝票印刷	6.6	6.6	6.6			
奨励金申請案内、決定通知郵送料	4.4	6.2	6.2			
団体及び業者奨励金	4,216.4	4,333.7	4,335.6	1.9		
計	4,397.3	4,519.5	4,348.4	171.1		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	4,397.3	4,519.5	4,348.4	171.1		
主な増減理由(前年比)	<ul style="list-style-type: none"> 電算化等による事務の効率化により減量推進課事務補助員を1名減員 団体回収量は減少しているものの、カレットびん等の回収業者奨励金の対象となる品目の回収量が増加していることによる奨励金額の増額 					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	1 環境と調和する都市の構築
施策	2 人と地球にやさしい環境の創出

事業名	環境教育等推進事業
担当課	生活環境部環境室環境課

目的と事業概要	<p>環境重視型社会を築いていくため、市民の環境保全意識を高め、自発的な取り組みを支援していくことが不可欠である。</p> <p>このことから、市民の環境保全活動を地域、学校など広範に進めるために多面的に取り組む必要があり、市民向け、子ども向け、環境イベントを主な柱に企業、大学、えべつ地球温暖化対策地域協議会などの環境活動団体と連携を図りながら、環境教育事業を通して普及啓発に努め、事業を展開している。</p>
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け / 市民環境講座～5回 / 出前ミニエコ講座～2回 / エコガイド活用事業～各種講座、公共施設、イベント配布 / 太陽光発電啓発事業～積雪の影響を受けない太陽光発電システムの開発・検証研究。 ・子ども向け / 環境学習推進事業:京セラ環境出前授業～小学校5校8回、酪農大環境GIS研究室空中写真出前授業～小学校5校9回 / ごみ減量体験講座(買い物ゲーム)～小学校17校36回、 / 出前環境学校事業(環境教育活動推進員養成講習会)～放課後児童会13児童会等13回、 / 夏休み環境学校(水辺の自然塾)1回 / 弁天丸で学ぶ石狩川1回、Eポートで学ぶ千歳川1回 / 自然エネルギー実験室1回 / えべつ環境ハンドブック活用事業～「エコチャレンジノート」小学校4校340部、「江別の自然」小学校4校・320部など。 ・総合的な環境イベント / えべつ環境広場開催(野幌公民館2日間)。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>新規事業または新規の取組みについて 現状の取組みの継続について</p> <p>(平成24年度事業の継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け(市民環境講座、出前ミニエコ講座、太陽光発電啓発):61.8万円 ・子ども向け(出前授業、買い物ゲーム、水辺の自然塾等):378.9万円 ・総合的な環境イベント(えべつ環境広場):25.9万円 <p>(新規の取組み)</p> <p>八幡地区に設置したノーザンフロンティア発電所の開所に合わせ、市民向けに太陽光発電に関する講座と見学会ほか、子ども向けに「ソーラー発電教室」を開催し、地元メガソーラー施設の学習を通して地球温暖化防止等の普及啓発を図る。:5.5万円</p>

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	市民環境講座等経費	10.8	30.4	14.4	16.0		
	太陽光発電啓発事業	48.2	26.3	47.4	21.1		
	ごみ減量講座・出前環境学校等経費	144.8	307.8	277.3	30.5		
	弁天丸・エネルギー実験室等経費	76.4	80.1	87.6	7.5		
	ソーラー発電教室(新)			5.5	5.5		
	環境ハンドブック作成費	17.9		14.0	14.0		
	えべつ環境広場開催経費	14.4	23.8	25.9	2.1		
	計	312.5	468.4	472.1	3.7		
	国・道支出金						
市債							
その他	28.6	138.5	4.0	134.5			
一般財源	283.9	329.9	468.1	138.2			
主な増減理由(前年比)							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	1 環境と調和する都市の構築
施策	3 水とみどりの保全と創出活用

事業名	保存樹木等指定事業
担当課	生活環境部環境室環境課

目的と事業概要	緑豊かな環境の確保及び美観風致を目的に「保存樹木」および「保存樹林」を所有者の理解を得て指定している。保存樹木等指定事業では、これらの所有者(民有)に管理謝礼を支払うとともに、治療養生の支援を行っている。また、名木鑑賞会「名木百選ウォッチング」を開催して緑化意識の醸成を図っている。
前年度までの実施内容と効果	<p>昭和59年に制定された「江別市緑化推進条例」に基づき、平成2年度に保存樹木の候補となる「指定樹木」32本を選定し、平成12年にこのうち30本を保存樹木として指定。これまで127本を指定し、枯死などにより25本を指定解除。現在102本の保存樹木がある。管理謝礼を通じて所有者に対し適切な管理を促すとともに治療養生の支援しながら、これらを市ホームページで公開するとともに、鑑賞会を開催し、緑化意識の醸成に努めてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定状況 保存樹木 102本(市有41、民有61本) 保存樹林 73,675㎡(市有1か所2,382㎡、民有2か所71,293㎡ うち樹林部分は32,295㎡) ・保存樹木治療状況 平成23年度からは27年度までの5ヵ年計画を作成して進めている。 平成22年度 2本 252千円 平成23年度 3本 448千円 ・名木百選ウォッチング(平成7年度より実施) 過去5年間の1回の参加者数平均は32人(参加料あり)。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木等管理謝礼 保存樹木および指定樹木63本 157,500円 保存樹林地 2か所 161,475円 計318,975円 ・保存樹木の治療・養生 4本予定 377,317円 ただし、治療を進める一方で、治療の適否の判断基準を新たに整備することとしたい。 ・名木百選ウォッチング 9月開催予定

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
保存樹木等管理謝礼ほか		37.6	37.7	37.4	0.3		
消耗品		1.8	1.8	1.8			
イベント用傷害保険料				0.2	0.2		
保存樹木治療養生委託ほか		44.8	45.8	43.6	2.2		
名木百選ウォッチングバス借上代		4.7	4.8	5.3	0.5		
計		88.9	90.1	88.3	1.8		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他	3.2	4.5	4.5			
一般財源		85.7	85.6	83.8	1.8		
主な増減理由(前年比)							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	1 都市型農業の推進

事業名	都市と農村交流事業
担当課	経済部農業振興課

目的と事業概要	<p>・地産地消の推進や市民と生産者の交流を目的として行う江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会(平成17年5月設立)の直売所スタンプラリーや野菜栽培講習会、農産物加工品フェアのほか、札幌圏の江別の農産物ファン獲得を目的として農業体験ツアー、グリーンツーリズムに関心を持つ生産者向け講習会、市内外へ江別市の農業をPRするためのMAP作成等を実施する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>直売所部会:10カ所の直売所が参加し直売所スタンプラリーを実施。355名の応募があった。(H23年度252名)応募者からは継続を要望する声が多く、直売所としてもえべつアイ等の全戸配布等もあり、宣伝効果は高い。</p> <p>加工部会:加工品フェア「農家のかあさん土曜日」開催。H23年度の来場者は全5回で2,954名。リピーターが着実に増えており、宣伝・PRの場として大きな役割を果たしている。</p> <p>貸し農園部会:市民向けの野菜栽培講習会を午前・午後の2回実施。H24年度の参加者は計128名。貸し農園利用者の参加もあり、定員を超える応募がある。</p> <p>札幌圏へのPR:農業体験バスツアーの実施。口コミ等で影響力のある女性をターゲットにすることで、他ツアーとの差別化を図っている。H24年度は定員30名に対し89名の応募があった。</p> <p>農業PRのためのMAP作成:施設、直売所のほか、市内外のイベント等で配布している。</p> <p>その他:市内外の催事に参加し、江別市の農畜産物をPRする活動を随時行っている。</p>
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>新規事業または新規の取組みについて</p> <p>現状の取組みの継続について</p> <p>上記内容を引き続き実施するとともに、新しく以下の取り組みを実施する。</p> <p>新規</p> <p>部会研修の充実:これまで食加研の職員などを講師として実施してきたが、試食販売やディスプレイなどのプロを招いて研修を行うことで、生産者のレベルアップを図る。</p> <p>直売所料理教室:地場産野菜を使った簡単料理方法の紹介を通じて、農産物のPRと地産地消の推進を図る。6月～9月までの月1回実施予定。保険料は市負担、食材は直売所負担。</p> <p>消費者との意見交換会:市民30名を広く広報・HP等により募集し、市内直売所見学、農家のおかあさんによる昼食提供・交流、意見交換会を実施する。生産者にとっては消費者のニーズを直接聞くことができ、消費者にとっては、生産者の顔が見え、安全・安心な地場産野菜について知ることができる。昼食・保険代は参加者負担。</p> <p>首都圏催事視察:首都圏百貨店等で行われる催事の中で、適当な出展先を検討するための視察を行う。</p>

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
・直売所スタンプラリー開催経費	18.1	27.6	17.9	9.7		
・加工品フェア等関連経費	0.6					
・野菜栽培講習会開催経費	2.9	2.1	2.1			
・農業体験バスツアー開催経費	25.8	26.2	28.0	1.8		
・グリーンツーリズム講習会開催経費	7.1	6.4	2.7	3.7		
・農産物MAP作成経費	24.0	14.1	32.4	18.4		
・その他経費(商談会・催事支援・旅費等)	3.0	4.3	4.8	0.5		
・グリーンツーリズム先進地視察(廃止)	5.8	8.9		8.9		
・部会研修実施経費(新規)			2.0	2.0		
・直売所料理教室実施経費(新規)			5.6	5.6		
・消費者との意見交換会開催経費(新規)			7.0	7.0		
・首都圏催事視察経費(新規)			6.3	6.3		
計	87.4	89.4	108.6	19.2		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	87.4	89.4	108.6	19.2		
主な増減理由(前年比)						
新規						
部会研修実施経費の増						
直売所料理教室実施経費の増						
消費者との意見交換会開催経費の増						
首都圏催事視察経費の増						
廃止						
グリーンツーリズム先進地視察経費の減						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	2 工業の振興と産学官連携の推進

事業名	誘致企業補助金
担当課	経済部企業立地推進室企業立地課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 江別市に立地する企業に対し補助金を交付することで、企業が市内に立地するよう誘導する。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> これまでに、21件(補助指定した件数)に対し、条例や要綱に基づき補助金を交付し、市内の企業立地が促進された。 江別市先端産業等誘致促進条例により固定資産税相当額(家屋、償却資産)を3年間補助する。 江別市産業支援サービス業雇用創出補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。 江別市コールセンター事業立地促進補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み手法の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、江別市先端産業等誘致促進条例により固定資産税相当額の補助を1社に対し行う。 また、誘致企業に係る補助制度について、当市は道内他市町と比較して補助採択基準が厳しく、また、対象業種についても限られていることから、補助制度の見直しを検討する。

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】 補助金	2,150.2	1,648.2	530.0	1,118.2		
	計	2,150.2	1,648.2	530.0	1,118.2		
	国・道支出金 市債 その他 一般財源	2,150.2	1,648.2	530.0	1,118.2		
主な増減理由(前年比)		補助対象企業数が4社から1社に減					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	3 商業の振興

事業名	食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業
担当課	経済部商工労働課

目的と事業概要	食を軸とした販路拡大による市内中小企業の経営基盤の安定・観光客誘客による経済活動の振興、さらにはバイヤーとの繋がりによる地場産品の掘り起こし・高付加価値化を図りながら経済活動の活性化及び雇用創出や税収増加などの効果を図る。
前年度までの実施内容と効果	<p>新商品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 江別産品試食評価相談会～食製品等の開発を行った事業所を中心に、専門家によるアドバイスを実施。平成23年度はバイヤー・レストランオーナーシェフ・デザイナーを招聘。6事業者が参加し、商品の磨き上げを行った。 <p>商品販路拡大支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 社団法人北海道貿易物産振興会と連携事業 北海道産品取引商談会～全国から1,500名のバイヤーが集まる道内最大級の商談会。「江別市ブース」を展開し販路拡大支援～H23年度は7社、24年度は8社が出展。 北海道の観光と物産展～本州百貨店への北海道物産展出展による江別の観光PRと販路拡大支援 出展百貨店・そごう大宮店(埼玉県)、高島屋柏店(千葉県)、そごう神戸店(兵庫県)、山形屋(鹿児島県) マーケティングテスト販売事業 北海道どさんこプラザ札幌店、丸井今井きたキッチンにて江別フェアを開催し、江別産品のテスト販売及び観光PRを行った。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>現状の取組みの継続について</p> <p>上記内容を引き続き実施し地場産品の販路拡大と派生的観光誘客増を志向する。</p> <p><新規></p> <ul style="list-style-type: none"> 「北海道スイーツ選手権」開催事業（北海道内都市経済活性化会議食部会主催）(市負担：102千円)道内9都市(予定)と連携し、道民によるスイーツの人気投票を行い、各都市のスイーツPR、販売促進、観光誘客につなげる。 札幌駅地下歩行空間マーケティングテスト事業(旅費：10.5千円) 札幌駅地下歩行空間にて江別産品のテスト販売を実施し、地場産品PRや販路拡大につなげる。

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】	相談員謝礼	2.8	10.0	9.9	0.1		
	会議、販売出店等旅費	5.5	4.8	5.2	0.4		
	会場借り上げ	0.7	1.3	1.4	0.1		
	商談会等出展負担金	46.5	41.5	51.7	10.2		
	計	55.5	57.6	68.2	10.6		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	55.5	57.6	68.2	10.6		
主な増減理由(前年比)		「北海道スイーツ選手権」開催及び札幌駅地下歩行空間マーケティングテスト事業新規実施による増。					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	4 就業環境の整備

事業名	雇用環境創出推進事業(就職希望者の就業支援事業)
担当課	経済部商工労働課

目的と事業概要	市内高等学校卒業予定の就職希望者を対象にビジネスマナー教室及び職業教育講演会を開催し、面接時の対応や自分の適性を把握して、社会人予備軍としてのスキルを身に付け、就業意識の向上を図る。また、大学生又は高校生と企業が交流する機会を設けて、マッチング支援を行う。
前年度までの実施内容と効果	<p>高等学校職業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者対象研修～進路講話・個別面接指導 ・就職未内定者対象研修～個別面接指導 ・就職内定者対象研修～ビジネスマナー指導 <p>地元企業との交流会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生と企業との交流会 (交流会開催までの事前研修は他の事業(新卒未就職者雇用促進事業)を活用して実施) ・高校生と企業との交流会
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>今年度に引き続き、高校の就職希望者に対する指導及び大学生・高校生と企業との交流会を実施するとともに、新規卒者と企業との相互理解を進める取組みを強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校就職希望者対象研修 延べ 54回 延べ100回 ・高等学校就職内定者対象研修 延べ 20回 延べ 18回 ・高等学校就職未内定者対象研修 延べ 6回 延べ 6回 ・高等学校向け地元企業交流会 ・大学向け地元企業交流会 ・企業とのマッチングに向けた各種事前研修

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
就職希望者の就業支援業務委託料		199.5	180.0	281.7	101.7		
計		199.5	180.0	281.7	101.7		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	199.5	180.0	281.7	101.7		
主な増減理由(前年比)		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生や大学生と地元企業との相互理解促進にかかる経費の増 ・高校生を対象としたビジネスマナー研修や面接指導にかかる経費の増 					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	3 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
施策	1 地域福祉の充実

事業名	民生委員連絡協議会補助金
担当課	健康福祉部福祉課地域福祉係

目的と事業概要	<p>研修参加支援による民生委員児童委員の資質・知識・技能の向上を図るとともに、市内9地区の民生委員児童委員協議会(法定設置)間の円滑な連絡調整を図るため、江別市民生委員児童委員連絡協議会及び民生委員児童委員協議会の運営に必要な経費の一部について、江別市民生委員児童委員連絡協議会に対し、江別市民生委員児童委員活動費等補助金交付要綱に基づき予算の範囲内で補助金を交付する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>【民生委員児童委員連絡協議会の運営内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務所 江別市総合社会福祉センター1階 ・民生委員児童委員数 248名(定数) ・運営内容 各種会議開催・参加、研修会開催・参加、各関係機関への協力、表彰、共済加入手続きなど <p>【実施内容と効果】</p> <p>これらの運営に必要な経費を補助することによって、民生委員児童委員連絡協議会の運営の安定化や、研修会開催・参加による民生委員児童委員の資質・知識・技能の向上、民生委員児童委員の活動活発化が図られ、民生委員児童委員の確保にもつながる。</p>
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>現状の取組みの継続について</p> <p>引き続き江別市民生委員児童委員活動費等補助金交付要綱に基づき予算の範囲内で補助を実施する。</p> <p>【対象経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議費、事務費、研修費、地区民協運営費、会費・負担金、互助共済費 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員連絡協議会及び民生委員児童委員協議会の運営安定化 ・研修会開催・参加による民生委員児童委員の資質・知識・技能の向上 ・民生委員児童委員の活動活発化

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
会議費・事務費・研修費		472.2	472.2	472.2			
地区民協運営費		248.0	248.0	248.0			
会費・負担金		143.4	143.4	143.4			
互助共済費		71.9	71.9	71.9			
計		935.5	935.5	935.5			
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	935.5	935.5	935.5			
主な増減理由(前年比)							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	3 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
施策	2 健康づくりの推進

事業名	救急医療対策事業
担当課	健康福祉部参事(地域医療担当)

目的と事業概要	休日、夜間における救急医療に対応する内科・小児科及び外科系の医療機関を当番制により確保することにより、市民の生命と健康の維持を図る。 当番制により開設する医療機関に補助金を交付する。
前年度までの実施内容と効果	災害事故等救急医療事業(外科系)～夜間毎日当番開設 平日 68,300円 土曜日 89,700円 日曜日・祝日 102,400円 年末年始休日 160,100円 患者数実績 H21年度 3,493人 H22年度 3,477人 H23年度 3,276人 休日等救急医療対策事業(内科・小児科)～日曜日・祝日当番開設 日曜日・祝日 34,100円 年末年始休日 53,200円 患者数実績 H21年度 7,257人 H22年度 5,855人 H23年度 6,418人
H25年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について 前年度と同様の方法により補助事業を継続する。 災害事故等救急医療対策事業(外科系)～市立病院と市内5医療機関の輪番により365日開設する。 休日等救急医療対策事業(内科・小児科)～市立病院と市内31医療機関の輪番により71日開設する。 上記の当番制の実施により、引き続き休日・夜間における救急医療に対応する内科・小児科及び外科系の医療機関を確保しようとするものです。

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
災害事故等救急医療対策事業 (外科系当番病院補助金)	1,976.6	1,983.9	1,984.8	0.9		
休日等救急医療対策事業 (内科小児科系休日当番病院補助金)	330.9	336.2	360.5	24.3		
一般旅費			1.5	1.5		
計	2,307.5	2,320.1	2,346.8	26.7		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	2,307.5	2,320.1	2,346.8	26.7		
主な増減理由(前年比)						
	1院(内科)当番日が減少し、2院(内科・小児科)当番日が増加したことによる補助金の増					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	3 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
施策	3 子育て環境の充実

事業名	ファミリーサポート事業
担当課	健康福祉部子育て支援子ども家庭課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域における市民相互の助け合いの気持ちをもとに、子育ての援助を受けたい方(依頼会員)と、子育ての援助を行える方(提供会員)とが会員登録し、児童の預かりや送迎などの支援を行う。また、平成21年度からは緊急サポートネットワーク事業も追加し、病児・病後児の預かりや宿泊を伴う緊急支援を実施している。 												
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 利用会員のニーズに合わせた援助内容の調整と会員同士のコーディネートが必要なため、センターを設置しコーディネーターを配置する。 21年度からの活動実績及び会員数は以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数</td> <td>321</td> <td>436</td> <td>503</td> </tr> <tr> <td>活動件数</td> <td>1469</td> <td>1485</td> <td>1889</td> </tr> </tbody> </table>		21年度	22年度	23年度	会員数	321	436	503	活動件数	1469	1485	1889
	21年度	22年度	23年度										
会員数	321	436	503										
活動件数	1469	1485	1889										
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>25年度においても前年度同様にセンター方式で会員のコーディネートを実施する。</p> <p><事業費></p> <table border="1"> <tr> <td>ファミリーサポート事業(依頼会員と協力会員同士の支援を調整)の委託</td> <td>306万6千円</td> </tr> <tr> <td>緊急サポートネットワーク事業(病児・病後児の預かりや宿泊を伴う支援を調整)の委託</td> <td>177万6千円</td> </tr> <tr> <td>無料利用券の使用分に対する補助</td> <td>9万2千円</td> </tr> </table>	ファミリーサポート事業(依頼会員と協力会員同士の支援を調整)の委託	306万6千円	緊急サポートネットワーク事業(病児・病後児の預かりや宿泊を伴う支援を調整)の委託	177万6千円	無料利用券の使用分に対する補助	9万2千円						
ファミリーサポート事業(依頼会員と協力会員同士の支援を調整)の委託	306万6千円												
緊急サポートネットワーク事業(病児・病後児の預かりや宿泊を伴う支援を調整)の委託	177万6千円												
無料利用券の使用分に対する補助	9万2千円												

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
ファミリーサポートセンター委託	255.7	297.5	306.6	9.1		
緊急サポートネットワーク委託	179.6	182.0	177.6	4.4		
補助・負担金	1.7	9.6	9.2	0.4		
計	437.0	489.1	493.4	4.3		
財源内訳						
国・道支出金	216.3	244.5	248.0	3.5		
市債						
その他	4.5	5.0		5.0		
一般財源	216.2	239.6	245.4	5.8		
主な増減理由(前年比)						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	3 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
施策	4 障がい者福祉の充実

事業名	重症心身障害者(児)医療的ケア事業
担当課	健康福祉部福祉課障がい福祉係

目的と事業概要	・医療的ケア(痰吸引や経管栄養など)を必要とする重症心身障害者(児)を対象に、家庭以外の日中活動の場に対しても看護師を派遣し、社会参加を支援する事業。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が主治医より「訪問看護指示書」の交付を受けた上で、福祉課に申請を行う ・利用者は福祉課から出た決定通知を基に訪問看護ステーションと直接契約を結ぶ 利用開始 ・平成23年7月より実施 ・平成24年度までの利用者は1名 ・派遣先実績は、「放課後児童会」「日中一時支援事業所」 実施場所は、看護師が未配置の障がい者施設等
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>対象者及び利用者は少ないが、医療が必要な重症心身障がい者が社会参加するためには必要な事業。現行の内容(看護師未配置の障がい者施設等に看護師を派遣する)で事業を継続していきたい。</p> <p>看護師派遣費 $5,300円 \times 12回(月12回まで利用可能) \times 12ヶ月 \times 2名 = 1,526,400円$ 療養費 月の初回の訪問: $7,050円 \times 1回 \times 12ヶ月 \times 2名 = 169,200円$ 2回目以降の訪問: $2,900円 \times 11回 \times 12ヶ月 \times 2名 = 765,600円$</p>

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
看護師派遣費(短時間派遣)	9.5	152.7	152.7			
療養費	6.1	93.5	93.5			
計	15.7	246.2	246.2			
財源内訳						
国・道支出金	7.8	123.0	123.1	0.1		
市債						
その他						
一般財源	7.9	123.2	123.1	0.1		
主な増減理由(前年比)						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	3 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
施策	5 高齢者福祉の充実

事業名	高齢者・身障者世帯緊急通報システム設置費
担当課	健康福祉部介護保険課高齢福祉係

目的と事業概要	概ね75歳以上で、心臓疾患などの突発性の持病のある独居高齢者、高齢夫婦、重度障がい者等を対象に、緊急ボタンを押すことで消防本部への通報が可能な緊急通報端末装置を無償貸与することにより、急病や災害時に迅速な緊急措置がとれる体制を整備し、高齢者が在宅で安心して生活できるようにする。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報端末装置の新規購入や取り外し機器の活用により、新規設置希望者に機器を無償貸与。 設置数:524世帯(平成24年11月13日現在) 新規設置数:133世帯(平成23年度実績) 緊急出動件数:89件(平成23年度実績) 相談センター業務 24時間体制で相談受付を実施:74件(平成23年度実績) 緊急通報協力員 自治会推薦の協力員による緊急通報設置者の安否・状況確認 協力員数:延1,249名(平成24年11月13日現在)
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規購入(40台)と取外機器(60台)の活用により、年間100台程度の端末機を新規世帯へ設置する。 【事業費】新規購入費4,032千円、移設費等1,831千円、計5,863千円 引き続き、相談センター業務(外部委託)の24時間体制、緊急通報協力員による緊急通報装置設置者の安否・状況確認体制(緊急通報協力員研修会の開催)を確保する。 【事業費】相談センター業務委託費806千円、協力員研修会開催経費等58千円、計864千円 機器の維持補修経費(センター装置保守点検等)を措置し、良好な緊急通報体制を確保する。 【事業費】センター装置保守点検782千円、その他保守・修理等経費1,355千円、計2,137千円 <p style="text-align: right;">【事業費合計8,864千円】</p>

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
事務費(消耗品、郵送料等)		5.1	19.7	19.6	0.1		
装置保守・相談センター運営費		158.9	158.9	158.9			
端末撤去・移設・修理・処分費		205.2	295.8	295.8			
発信機電池交換業務		3.8	12.6	8.9	3.7		
個人端末装置の購入		357.0	403.2	403.2			
計		730.0	890.2	886.4	3.8		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	730.0	890.2	886.4	3.8		
主な増減理由(前年比)							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	3 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
施策	6 社会保障の充実

事業名	年末見舞金支給事業
担当課	健康福祉部 保護課

目的と事業概要	生活保護受給世帯を除く生活困窮世帯に対し、年末見舞金を支給することで、当該世帯への冬期の生活支援を行い、地域福祉の向上に資することを目的とする。 江別市社会福祉協議会が行う「歳末見舞金支給事業」と併せて実施する。												
前年度までの実施内容と効果	江別市社会福祉協議会が実施する「歳末見舞金支給事業」と一体的に実施するもので、同事業の支給対象者に、世帯構成員に応じた見舞金と灯油購入相当額（200ℓ）を支給する。 支給対象：社会福祉協議会の歳末見舞金支給の対象で、今年の年間世帯収入が生活保護基準以下で、次の～のすべてに該当する世帯。 平成23年12月1日現在、江別市内に居住している。 生活保護を受けていない。 施設に入所していない。 H23年度実績 508世帯 / 1,075人 支給総額 11,540,000円												
H25年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について 事業目的に対し一定の成果があがっているものと判断し、現状の取組みを継続する。 事業費の算定にあたっては、過去の実績に基づいて支給対象世帯数を想定の上、着実な事業の実施を図る。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・見舞金 1人世帯 3,000円 × 238世帯 <li style="padding-left: 20px;">2人世帯 6,000円 × 201世帯 <li style="padding-left: 20px;">3人世帯 9,000円 × 184世帯 </td> <td style="width: 5%; vertical-align: middle; text-align: center;">}</td> <td style="width: 10%; vertical-align: middle; text-align: center;">=</td> <td style="width: 35%; vertical-align: middle; text-align: right;">3,576,000円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・灯油加算分 @84円/ℓ × 623世帯 + 消費税 </td> <td></td> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;">=</td> <td style="vertical-align: middle; text-align: right;">10,989,720円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・事務費（支給用封筒外） </td> <td></td> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;">=</td> <td style="vertical-align: middle; text-align: right;">8,820円</td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・見舞金 1人世帯 3,000円 × 238世帯 <li style="padding-left: 20px;">2人世帯 6,000円 × 201世帯 <li style="padding-left: 20px;">3人世帯 9,000円 × 184世帯 	}	=	3,576,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・灯油加算分 @84円/ℓ × 623世帯 + 消費税 		=	10,989,720円	<ul style="list-style-type: none"> ・事務費（支給用封筒外） 		=	8,820円
<ul style="list-style-type: none"> ・見舞金 1人世帯 3,000円 × 238世帯 <li style="padding-left: 20px;">2人世帯 6,000円 × 201世帯 <li style="padding-left: 20px;">3人世帯 9,000円 × 184世帯 	}	=	3,576,000円										
<ul style="list-style-type: none"> ・灯油加算分 @84円/ℓ × 623世帯 + 消費税 		=	10,989,720円										
<ul style="list-style-type: none"> ・事務費（支給用封筒外） 		=	8,820円										

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	見舞金	290.4	336.0	357.6	21.6		
	灯油加算分	863.6	1,007.4	1,099.0	91.6		
	事務費	0.7	0.9	0.9			
計		1,154.7	1,344.3	1,457.5	113.2		
財源内訳	国・道支出金	100.0	100.0	100.0			
	市債						
	その他 一般財源	1,054.7	1,244.3	1,357.5	113.2		
主な増減理由(前年比)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度から平成23年度の支給世帯数の増加率を基に世帯数を想定。 ～ H24見込 563世帯 H25見込 623世帯 ・灯油単価の変動 ～ H24見込 82円/ℓ → 85円/ℓ 					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	1 安全な暮らしの確保

事業名	街路灯設置費補助金
担当課	生活環境部市民生活課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等が地域に街路灯(防犯灯)を設置し、夜間における防犯、交通安全の確保等を図ることを目的に、自ら地域環境整備を推進することに対して支援を行う。平成23年度からはLED灯への補助を開始。 平成25年度から街路灯(防犯灯)をLED化した自治会等管理団体に対し奨励金を交付する。このことにより更新時の設置費用負担の軽減を図り、更なるLED化を促進し、環境負荷の低減と維持管理費用の軽減を目的とする。 				
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等が設置する街路灯(防犯灯)の新設・更新に要する費用の一部補助を実施。 補助基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>LED20W以下</td> <td>: 設置費の1/2、限度額25,500円</td> </tr> <tr> <td>LED20W超</td> <td>: 設置費の1/2、限度額30,000円</td> </tr> </table> 平成23年度 新設 80灯(21灯) 更新 444灯(210灯) 計 524灯(231灯) 平成24年度見込み 新設 62灯(41灯) 更新 361灯(238灯) 計 422灯(279灯) <p style="text-align: right;">カッコ内はLED灯数</p>	LED20W以下	: 設置費の1/2、限度額25,500円	LED20W超	: 設置費の1/2、限度額30,000円
LED20W以下	: 設置費の1/2、限度額25,500円				
LED20W超	: 設置費の1/2、限度額30,000円				
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み手法の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き自治会等が設置する街路灯(防犯灯)の新設・更新に要する費用の一部補助を実施する。 江別市街路灯設置費補助金の交付を受けLED防犯灯に更新した団体に対し、新たにLED防犯灯1灯につき一定の額を翌年度に予算の範囲内で奨励金として交付する。 <p>(奨励金単価の積算) LED化により軽減される電気料金の差額を基準として積算する。</p>				

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
	【積算内訳】						
	設置費等補助金	979.7	979.2	1,181.2	202.0		
	LED化促進奨励金			362.0	362.0		
計		979.7	979.2	1,543.2	564.0		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	979.7	979.2	1,543.2	564.0		
主な増減理由(前年比)							
		<ul style="list-style-type: none"> 新規設置・更新灯数の増 平成25年度からLED化促進奨励金を新規追加 					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	2 交通環境の充実

事業名	生活バス路線運行補助事業
担当課	企画政策部 企画課 住環境活性化・公共交通担当

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 生活バス路線の維持、確保のため、赤字バス路線への補助等を行う。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 生活バス路線運行費補助 3,860千円 (1) 市内赤字路線(運行キロ程10km以上、輸送量5人/日以上、運行回数1回/日以上)に対し、1路線上限1,000千円を補助する。 対象:2路線 2,000千円(市単独補助) (2) 廃止代替路線である当江線に対し、道、江別市、当別町で補助する。 対象:1路線 1,860千円(道補助の協調補助) 上記補助により、生活バス路線の維持、確保につながっている。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活バス路線の維持、確保のため、引き続き赤字バス路線への補助を行う。 生活バス路線運行費補助 4,030千円 (1) 市内赤字路線(運行キロ程10km以上、輸送量5人/日以上、運行回数1回/日以上)に対し、1路線上限1,000千円を補助する。 対象:2路線 2,000千円(市単独補助) (2) 廃止代替路線である当江線に対し、道、江別市、当別町で補助する。 対象:1路線 2,030千円(道補助の協調補助)

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
交通調査委託料		230.0		230.0		
バス路線マップ改訂版作成	42.5	21.0		21.0		
公共交通検討会議開催経費		54.9		54.9		
生活バス路線運行費補助	361.2	386.0	403.0	17.0		
計	403.7	691.9	403.0	288.9		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	403.7	691.9	403.0	288.9		
主な増減理由(前年比)						
	<ul style="list-style-type: none"> 交通調査、バス路線マップ作成及び公共交通検討会議は別事業に分離 当江線補助にかかる燃料費等の増 					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	3 危機管理の強化・充実

事業名	災害対応物品整備事業
担当課	総務課参事(危機対策・防災担当)

目的と事業概要	災害に対応するために必要な物品の購入、保管倉庫の整備等については、別事業である地域防災力向上支援事業で行っていたが、東日本大震災を契機とする必要物品の見直しにより、量の増加、種類の多様化が生じた。 それに対応するため、物品等の整備については平成24年度より事業を独立して行うこととした。
前年度までの実施内容と効果	それまでも購入、整備していた毛布・食糧に加え、災害用トイレ、更衣室用テント、発電機などの災害時に必要となる物品を検討し、整備を進めている。 今後については、庁内、庁外からも意見を集め、災害に対応するための物品の充実を図っていくことで、災害に強いまちづくりを実現していく。
H25年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について H24年度に実施した防災訓練等により以下の課題を発見した。 ・避難所において発電機に対応した照明器具の備蓄 ・厳寒期に使用が可能な発電機の整備 毛布、食糧、テント等、既に計画的に備蓄を進めているもののほか、以下の物品について整備を行う。 ・簡易照明器具 242千円 ・LPガス発電機 2,457千円 ・コードリール等 1,093千円

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
毛布、食糧、トイレ、テント等購入費用			619.2	414.4	204.8		
防災物品備蓄倉庫改修に係る費用			79.4		79.4		
ストーブ、倉庫用棚、発電機等購入費用			571.0	381.6	189.4		
簡易照明器具、LPガス発電機、コードリール、スピーカー等購入費用				379.1	379.1		
計			1,269.6	1,175.1	94.5		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源		1,269.6	1,175.1	94.5		
主な増減理由(前年比)							
		防災物品備蓄倉庫改修費用の減					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	4 市街地整備の充実

事業名	都市景観創出事業
担当課	企画政策部 都市計画課 計画係

目的と事業概要	美しい都市景観や快適な都市環境を創出するための啓発・普及活動として、「江別市都市景観賞」、「まちづくり彩々展」、「都市景観施設の修繕等」、「美原大橋のライトアップ」等を実施している。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「江別市都市景観賞」は3年ごとに開催されており、美しい都市景観を創り出している建物や活動などを市民の皆さんから推薦していただき、特に優れたものに対して表彰を行っている。前回(第16回)は平成22年度に開催されており、応募件数29件、うち4件が都市景観賞を受賞している(今までの受賞は計50件)。「まちづくり彩々展」は、江別市都市景観賞などの景観に関する情報を発信するため、毎年10月4日の「都市景観の日」に合わせて、中央、野幌、大麻公民館で各1週間ほど開催している。 ・江別市内の都市景観施設について、施設を維持するための修繕や負担等を行っている。 ・江別市のランドマークとなっている美原大橋の付加価値をさらに高めるため、ライトアップを実施しているが、平成24年度は、節電要請など逼迫した電力の需給状況を考慮し、7月以降休止している。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第17回江別市都市景観賞」の開催(79.7万円) 対象作品の募集及び表彰:42.9万円 景観パンフレットの更新:36.8万円 ・「まちづくり彩々展」の開催(10.1万円) 中央、野幌、大麻公民館で各1週間ほど開催 江別市都市景観賞や市内の景観づくりへの取り組みなどについて紹介

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
江別市都市景観賞関連経費	13.3		79.7	79.7		
まちづくり彩々展関連経費	2.3	5.3	10.1	4.8		
都市景観施設の修繕等	163.1	3.0	3.0			
美原大橋ライトアップ関連経費	16.4	24.0	3.2	20.8		
計	195.1	32.3	96.0	63.7		
財源内訳						
国・道支出金	115.5					
市債						
その他	47.6					
一般財源	32.0	32.3	96.0	63.7		
主な増減理由(前年比)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市都市景観賞関連経費の増(3年ごとに開催) ・美原大橋ライトアップ関連経費の減(節電のため継続して休止予定) 					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	5 上下水道の整備

事業名	下水道事業会計繰出金
担当課	水道部総務課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業法等に定める経営の基本原則を堅持しながら、下水道事業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、総務省が定める繰出基準に基づくもののほか、一般会計が負担すべき経費について下水道事業会計への繰出しを行う。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 以下の負担金及び補助金について、一般会計から下水道事業会計に対する繰出しを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 雨水処理等に要する経費に対する負担金 下水の水質規制に関する事務に要する経費に対する負担金 水洗化の普及、促進に関する事務に要する経費に対する負担金 中央団地整備事業に係る元利償還金に対する負担金 建設事業費に対する当年度負担金 臨時財政特例債等の元利償還に要する経費等に対する補助金 効果 上記繰出しにより、下水道事業会計の経営基盤が強化され、経営の安定化に繋がっている。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み手法の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設事業費に対する当年度負担金について、次年度以降の減価償却費に対して繰出すことへの変更により、原則として廃止する。 なお、企業債残高については、平成12年度末の250億円をピークに減少してきている(平成23年度末158億円)。今後も、緊急性や優先性を精査し、計画的に事業を実施することで企業債発行を抑制し、後年次における財政負担の軽減を図る。

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
雨水処理等負担金	125,421.0	121,874.2	121,309.8	564.4		
水質規制費負担金	4,137.8	944.0	921.7	22.3		
利用促進費負担金	403.4	474.0	491.1	17.1		
中央団地整備負担金	144.7	144.6	144.6			
建設事業費負担金	8,695.3	10,710.1		10,710.1		
一般会計補助金	10,465.3	9,671.4	9,813.3	141.9		
計	149,267.5	143,818.3	132,680.5	11,137.8		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	149,267.5	143,818.3	132,680.5	11,137.8		
主な増減理由(前年比)						
建設事業費当年度負担金の廃止による減						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	6 電子情報化の推進

事業名	証明書コンビニ交付事業
担当課	生活環境部市民課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳カードを利用して、住民票や印鑑証明書等を全国のコンビニエンスストアなどで休日、早朝、夜間でも取得できるように、平成26年4月1日供用開始に向けてシステムの構築を行う。 ・住民基本台帳カードの普及が不可欠なことから、徹底したPRや出前受付を実施する。
前年度までの実施内容と効果	
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 新規事業または新規の取組みについて</p> <p>証明発行サーバ及びICカード標準システムの基幹システムとのシステム連携構築 460万2千円 地方自治情報センター(LASDEC)との契約及び例規等の制定・改正 コンビニ証明交付の利用に不可欠な住基カードの普及促進(11月1日現在5,445枚 9,000枚) 746万6千円</p> <p>〔コンビニ等で交付可能となる証明書等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民票の写し ・印鑑登録証明書 ・戸籍証明書 ・戸籍附票の写し ・税証明書(市民税課所管) <p><参考> H26年度以降の経費見込み(単年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治情報センター負担金 300万円 ・システム保守経費 140万円 ・コンビニ本部への発行手数料 68万円 ・住基カード購入費・照会書発送費 372万円 計 880万円

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
[積算内訳]	住基カード購入費用等			413.5	413.5		
	住基カードシステム保守費用			46.7	46.7		
	住基カード普及活動費用			746.6	746.6		
	計			1,206.8	1,206.8		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源			1,206.8	1,206.8		
主な増減理由(前年比)							
新規事業による増							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	4 安全で快適な都市生活の充実
施策	7 消防・救急の充実

事業名	火災予防推進事業
担当課	消防署予防課

目的と事業概要	<p>火災及び焼死事故防止並びに危険物事故防止に対する意識を持ってもらい、万一火災等が発生した際の初期対応能力(通報、初期消火、避難等)の向上を図るために、火災予防運動、民間防火組織の育成強化、消防訓練指導等を実施し、防火・防災意識の高揚を図ることを目的とする。</p> <p>また、高齢者が住宅火災の犠牲となる焼死事故が全国的に多く発生していることから、住宅用火災警報器等の設置促進等による住宅防火対策の推進及び放火火災の多発に伴い、放火火災防止のため、放火されない環境づくりの徹底を推進する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災原因調査～火災発生件数 平成21年 36件、平成22年 24件、平成23年 43件 火災予防運動(春・秋・歳末)の実施 民間防火組織(少年・婦人防火クラブ)の育成 <ul style="list-style-type: none"> ～ 訓練等指導回数 平成21年度 50回、平成22年度 32回、平成23年度 48回 消防訓練指導等 ～ 実施回数 平成21年度 330回、平成22年度 440回、平成23年度 469回 住宅防火対策等の推進 ～ 移動住宅防火展の実施(住宅用火災警報器等の住宅用火災警報器等の設置啓発、防災製品の使用促進等) 各種研修会の実施 ～ 甲種防火管理講習、危険物安全週間研修会 <p>(効果)</p> <p>住宅用火災警報器の設置推進活動により、市内の8割以上の世帯に対し設置 これによる火災の未然防止や被害が最小限にとどまるといった奏功事例が市内で12件</p>
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>新規事業または新規の取組みについて 現状の取組みの継続について</p> <p>(新規の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「広報えべつ」に防火啓発リーフレットを折り込み、全世帯に配布することにより、市民に対し更なる火災予防思想の啓発を行う。リーフレット印刷費～300千円、「広報えべつ」への差込料～66千円 業務の迅速化を図り、市民サービスの向上のため非常勤職員1名の増員。報酬～1,730千円 <p>(現状取組みの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災予防思想の啓発は、継続的に繰り返し実施することが重要であることから、前年度までの火災予防運動、民間防火組織の育成強化、住宅防火対策の推進、各種研修会の開催等の事業も引き続き実施する。防火啓発用物品等の作成、購入費等～1,725千円

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	非常勤職員の報酬			173.0	173.0		
	火災予防研修会等講師謝礼			4.0	4.0		
	各種講習会参加時の交通費等	5.4	5.5	7.7	2.2		
	防火啓発物品作成及び購入費	150.8	89.4	172.5	83.1		
	火災原因調査関係費	10.4	15.4	24.5	9.1		
	防火リーフレット全戸配布費			36.6	36.6		
	計	166.6	110.3	418.3	308.0		
	国・道支出金						
	市債 その他 一般財源	166.6	110.3	418.3	308.0		
主な増減理由(前年比)							
		防火啓発リーフレットの「広報えべつ」全戸配布に係る経費増、非常勤職員報酬の増、謝礼の増					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	5 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
施策	1 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

事業名	キャリア教育推進事業
担当課	教育部学校教育支援室学校教育課

目的と事業概要	生徒が原則連続3日間の職場体験を行うことによって、勤労観や職業観の育成を目指す。
前年度までの実施内容と効果	<p>平成24年度は、中学校5校の生徒566名が市内92箇所の事業所において、3日間連続の職場体験学習を行った。主な体験先は、福祉施設、幼稚園、民間企業、小学校、市役所等である。</p> <p>事後の生徒に対するアンケート(平成23年度実績)では、以下のような回答結果になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容や手順を理解できた(99%) ・たくさんの人と話したり、わからないことを聞いたりできた(91%) ・自分にとって有意義だった(88%) ・働くことの厳しさや楽しさを感じることができた(91%) ・自分の進路を考えるきっかけとなった(61%) ・また、やってみたい(76%)
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>市内受け入れ事業所の確保を図り、前年度同様3日間の職場体験を実施する。</p> <p>[H25年度実施内容(見込み)] 実施学校数:中学校6校 実施事業所:福祉施設、幼稚園、民間企業、市役所等</p>

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
マナー講習講師謝礼	4.4	11.0	13.2	2.2		
消耗品費	20.3	30.0	42.0	12.0		
切手代(礼状、アンケート実施)	6.2	10.0	15.0	5.0		
計	30.9	51.0	70.2	19.2		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他		50.0		50.0		
一般財源	30.9	1.0	70.2	69.2		
主な増減理由(前年比)						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	5 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
施策	2 生涯学習の充実

事業名	家庭教育(青空こどもの広場)事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児(3歳～5歳)とその親を対象に、青空のもと、フォークダンスやリズム体操、創作活動をとおり、親子のふれあい、協調性、参加者相互の交流、しつけのあり方や家庭教育などについて学ぶ機会を提供し、家庭教育力の向上を目指す。 																					
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内5地区で実施(旧町村農場、麻の実児童センター、区画整理記念会館、セラミックアートセンター、ひまわり児童センター) ・ 1地区10回開催(5月から3月の毎週火、金曜日の午前中) ・ 指導員2名(幼稚園教諭資格者:謝礼対応)、担当職員2名で実施 ・ 3月に、参加者全員を対象としたお楽しみ会を実施 ・ 子育てに関する情報や知識の取得、親同士・子ども同士の交流(ネットワークの構築)、幼稚園などの集団生活への準備といった効果が得られた。 <p>【参加者数】</p> <table border="1"> <tr> <td>旧町村農場</td> <td>H22年度:31人</td> <td>H23年度:28人</td> </tr> <tr> <td>麻の実児童センター</td> <td>H22年度:33人</td> <td>H23年度:22人</td> </tr> <tr> <td>区画整理記念会館</td> <td>H22年度:20人</td> <td>H23年度:38人</td> </tr> <tr> <td>セラミックアートセンター</td> <td>H22年度:30人</td> <td>H23年度:40人</td> </tr> <tr> <td>ひまわり児童センター</td> <td>H22年度:19人</td> <td>H23年度:38人</td> </tr> <tr> <td>おたのしみ会</td> <td>H22年度:50人</td> <td>H23年度:46人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>H22年度:183人</td> <td>H23年度:212人</td> </tr> </table>	旧町村農場	H22年度:31人	H23年度:28人	麻の実児童センター	H22年度:33人	H23年度:22人	区画整理記念会館	H22年度:20人	H23年度:38人	セラミックアートセンター	H22年度:30人	H23年度:40人	ひまわり児童センター	H22年度:19人	H23年度:38人	おたのしみ会	H22年度:50人	H23年度:46人	計	H22年度:183人	H23年度:212人
旧町村農場	H22年度:31人	H23年度:28人																				
麻の実児童センター	H22年度:33人	H23年度:22人																				
区画整理記念会館	H22年度:20人	H23年度:38人																				
セラミックアートセンター	H22年度:30人	H23年度:40人																				
ひまわり児童センター	H22年度:19人	H23年度:38人																				
おたのしみ会	H22年度:50人	H23年度:46人																				
計	H22年度:183人	H23年度:212人																				
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組み手法の見直しについて 現状の取組みの継続について <p>継続して実施 (募集の方法、会場の実施順などを一部考慮する)</p>																					

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
指導員等報酬	62.0	65.0	68.5	3.5		
教材作成等の消耗品	2.6	2.4	2.4			
保険料	0.3	0.4	0.4			
講師送迎タクシー代	0.3	0.6	0.6			
計	65.2	68.4	71.9	3.5		
財源内訳						
国・道支出金	32.6	34.2		34.2		
市債						
その他						
一般財源	32.6	34.2	71.9	37.7		
主な増減理由(前年比)						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	5 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
施策	3 青少年健全育成の推進

事業名	子どもを見守る地域ふれあい事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが巻き込まれる凶悪犯罪が発生する中、保護者や住民も子どもたちの教育を地域全体で担っていくために、学校、PTA、地域が連携を図り協働して取り組む子どもを見守るアクションプランに対応した次の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 非行防止等子どもの安全を守る地域活動 子どもの体験不足を補う体験学習活動 地域の持つ教育力を活かす交流活動 子どもと共に地域住民が取り組むボランティア活動
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> PTAや学校区関連の地域団体等に対し、上記に対応する事業へ1/2以内の助成。 <ul style="list-style-type: none"> ○地域巡視活動や児童を見守る安全講習会等 ○自然体験交流、ものづくり体験等の体験学習 ○地域あいさつ運動 ○子どもとの地域交流活動・地域活性化活動等 ○これまでに11年間で、延べ59団体に支援 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度 8団体(地域巡視他) ・平成22年度 7団体(校内巡視、安全体験他) ・平成23年度 8団体(登下校指導他)
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的に対応した事業を採択し、子どもを見守る地域ふれあい実践団体に対し2分の1以内の助成支援を行う。 <p>[補助見込み額]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域巡視活動 1団体×2万円 ・交流活動 1団体×4万円 ・体験活動 1団体×5万円 ・地域ボランティア活動 3団体×3万円

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	事業実施団体への支援補助	20.0	20.0	20.0			
	計	20.0	20.0	20.0			
	国・道支出金						
	市債						
	その他	20.0	20.0		20.0		
	一般財源			20.0	20.0		
主な増減理由(前年比)							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	5 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
施策	4 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

事業名	市民芸術祭開催支援事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を図るため、各事業の実行委員会が行う市民創造型芸術文化事業の開催を支援する。
前年度までの実施内容と効果	<p>事業補助(江別市芸術文化奨励補助金交付要綱に基づく) 各実行委員会が行う次の3部門の市民創造型芸術文化事業の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台部門 (市民ミュージカル公演3年に1回本公演実施) 平成22年8月28～29日 「プレゼント・フォー・ユー」 3公演 出演者数32名 来場者数982人 平成24年度 準備事業として脚本、音楽作成 ・音楽部門 (まちかどコンサート年2回) 第31回:平成23年 5月21日 えぼあホール 出演8団体 来場者数329名 第32回:平成23年12月10日 コミュニティセンター 出演8団体 来場者数180名 第33回:平成24年 6月30日 コミュニティセンター 出演8団体 来場者数192名 第34回:平成24年12月 8日 えぼあホール ・展示部門 (市民美術展受賞作品展5年ごと) 平成24年7月4日～15日 セラミックアートセンター企画展示室 出品数46点 来場者数774人
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>継続して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台部門 (市民ミュージカル公演 本公演実施) 平成25年8月24～25日 3公演「森林公園の妖怪」 ・音楽部門 (まちかどコンサート年2回) 第35回:平成25年6月22日 コミュニティセンター 第36回:平成25年12月 7日 えぼあホール

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
	【積算内訳】						
	各実行委員会への補助金	60.0	140.0	160.0	20.0		
	計	60.0	140.0	160.0	20.0		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他		100.0		100.0		
	一般財源	60.0	40.0	160.0	120.0		
主な増減理由(前年比)		市民ミュージカル開催による増(3年毎開催:H24年度準備経費 H25年度開催経費)					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	5 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
施策	5 市民スポーツ活動の充実

事業名	地域スポーツ活動活性化促進事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校や自治会等を対象にスポーツ推進委員の指導により、レクリエーションや軽スポーツに触れる機会をつくることによって、継続的なスポーツ活動への契機づけを図り、軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。 									
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。(軽スポーツ出前) メニューはフライングディスク、ユニカール、ハッピーボウリング、ティーボール、長なわとび&バンジージャンプの6種類。 <table border="0"> <tr> <td>【指導派遣者数】</td> <td>【件数】</td> <td>【参加人数】</td> </tr> <tr> <td>H22年度:18人</td> <td>H22年度:8件</td> <td>H22年度:433人</td> </tr> <tr> <td>H23年度:18人</td> <td>H23年度:9件</td> <td>H23年度:330人</td> </tr> </table>	【指導派遣者数】	【件数】	【参加人数】	H22年度:18人	H22年度:8件	H22年度:433人	H23年度:18人	H23年度:9件	H23年度:330人
【指導派遣者数】	【件数】	【参加人数】								
H22年度:18人	H22年度:8件	H22年度:433人								
H23年度:18人	H23年度:9件	H23年度:330人								
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>引き続き、軽スポーツ出前及び各種講習会へのスポーツ推進委員派遣を実施していく。</p> <p>[H25年度活動見込み]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や自治会等へのスポーツ推進委員の派遣指導 15回 スポーツ推進委員の実技指導関係講習会派遣 1回 									

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	スポーツ推進委員報酬	11.6	23.2	23.2			
	スポーツ推進委員旅費	1.9	3.3	3.3			
	被服費(ジャージ等)	9.8	13.1	24.0	10.9		
計		23.3	39.6	50.5	10.9		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	23.3	39.6	50.5	10.9		
主な増減理由(前年比)							
【増加】							
スポーツ推進委員の交代による被服費(ジャージ等)の増							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	6 市民協働によるまちづくり
施策	1 自助・互助・公助のまちづくり

事業名	市民協働推進事業
担当課	生活環境部市民生活課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働への理解と認識を深め、市民の参画意欲を高めることを目的として、市民活動の活性化を図るため、活動団体へのアドバイスや交流事業等を実施する団体に対し、要綱に基づき補助金を交付する。また、活動団体のネットワーク化に向けた情報発信および研修事業等を行う。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 協働のまちづくり活動支援事業 地域の公共的な課題に対し、市民活動団体が活動の拡大や新たに取り組む事業に対する補助金を交付する(公開選考会・報告会開催に係る経費を含む) 平成24年度は6団体へ交付 市民活動促進事業 市民活動に関する相談事業や市民活動見本市実施等に係る経費 市民活動活性化促進事業 市民活動への理解促進のため、市民・学生などを対象とした研修や啓発等の委託事業を実施
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくり活動支援事業 106.5万円 市民活動促進事業 90.0万円 市民活動活性化促進事業 65.9万円 市民活動団体調査事業 23.1万円 市民活動団体の活動内容等を調査し、進捗状況を把握するため、4年に一度実施 平成25年度が調査年

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
協働のまちづくり活動支援事業		104.4	106.5	106.5			
市民活動促進事業		90.0	90.0	90.0			
市民活動活性化促進事業		90.6	68.1	65.9	2.2		
市民活動団体調査事業				23.1	23.1		
その他の経費		2.0	2.0	15.0	13.0		
計		287.0	266.6	300.5	33.9		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他	58.2	60.0		60.0		
	一般財源	228.8	206.6	300.5	93.9		
主な増減理由(前年比)		市民活動団体調査の実施による増					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	6 市民協働によるまちづくり
施策	2 男女共同参画社会の形成

事業名	男女共同参画啓発事業
担当課	企画政策部政策調整課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域・職場などにおいて固定的性別役割分担意識や男女不平等意識の解消を図り、男女共同参画社会の実現を図る。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画意識を啓発するための講演会、セミナーを開催する。 男と女 共に支える介護をめざして 6/26実施(56名参加) 乳がんのおはなし&ミニコンサート(保健センターと連携) 10/20実施(170名参加) 防災/男女共同参画 合同セミナー 12/15実施予定 デートDV防止啓発リーフレットを若年層に配布する。(成人のつどい1,300枚、4大学新入学生3,000枚) 「日本女性会議2012仙台」に一般市民2名を派遣する。 報告会を開くとともに市HPで報告する。 基本計画の進捗状況や評価方法について審議・検討を行う江別市男女共同参画審議会を開催する。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 新規事業または新規の取組みについて 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度は現行の男女共同参画基本計画(2009改訂版)の最終年度となるため、平成26年度から始まる次期計画の策定作業を行う。そのため、審議会(委員数12名)開催回数の増加(通常3回 6回)を見込む。～審議会開催経費:48万7千円(報酬、お茶代、会場使用料等) 策定された次期計画を広く市民に周知するために、基本計画の冊子及び概要版を作成し配布する。多くの人に手に取ってもらえるような見やすく分かりやすいデザインを心掛ける。～作成経費:25万1千円(計画1,000部、概要版1,000部)

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
男女共同参画審議会開催経費	14.8	24.7	48.7	24.0		
次期男女共同参画基本計画作成経費			25.1	25.1		
男女共同参画啓発講演会等開催経費	39.5	59.1	60.0	0.9		
日本女性会議参加経費	22.4	16.3	17.9	1.6		
啓発リーフレット等作成費	10.1	8.7	8.7			
一般管理経費	5.5	5.6	1.2	4.4		
計	92.3	114.4	161.6	47.2		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	30.0	30.0	30.0			
一般財源	62.3	84.4	131.6	47.2		
主な増減理由(前年比)						
<ul style="list-style-type: none"> 次期男女共同参画基本計画の策定に係る審議会開催数の増加(3回 6回) 次期男女共同参画基本計画書及び概要版の作成経費 日本女性会議の開催地変更(宮城県仙台市 徳島県阿南市) 						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	6 市民協働によるまちづくり
施策	3 国内・国際交流の推進

事業名	小中学生国内交流研修事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市土佐市との小中学生相互交流事業として、ホームステイによる生活体験や、日常・学校生活の実体験を通じ、お互いの文化や歴史に対する理解を深めるとともに、豊かな感性を育む。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生国内交流研修事業は、友好都市土佐市と江別市の共催事業。 小中学生を対象とし、秋には江別市が土佐市を訪問、冬には江別市が土佐市を受入れる相互交流により、直接的なふれあいや学校での交歓事業等を行う。 友好都市の文化や歴史、産業などの理解を深め、異文化に触れることで改めて江別の街を知る機会となり、郷土を愛する心が育まれる。 <ul style="list-style-type: none"> ○訪問：10月中旬(3泊4日)：ホームステイ、体験入学、みかんがり・高知城・手すき等体験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生7名・中学生3名、引率教員職員3名が訪問 ○受入：1月下旬(3泊4日)：ホームステイ、体験入学、スキー体験、市内及び近郊施設見学 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生9名・中学生3名、引率教員職員4名を受入
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き友好都市土佐市との相互交流を実施していく。 <ul style="list-style-type: none"> 訪問：10月中旬(3泊4日)：ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学、事業集録 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生7名、中学生3名、引率教員・職員3名が訪問 受入：1月下旬(3泊4日)：ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学、事業集録 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生9名、中学生3名、引率教員・職員4名を受入

(単位：万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	同行職員旅費	9.1	19.0	10.3	8.7		
	派遣・受入に伴う訪問団への補助	107.3	123.2	125.9	2.7		
計		116.4	142.2	136.2	6.0		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他	20.0	20.0		20.0		
	一般財源	96.4	122.2	136.2	14.0		
主な増減理由(前年比)							
	相互交流に伴う旅費の減						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	7 計画実現に向けて
施策	1 効率的な行財政運営の推進

事業名	電子情報安全管理対策事業
担当課	総務部 情報推進課

目的と事業概要	電子情報行政に係る事故(流出・改ざん・紛失・不正利用など)を未然に防止するため、情報セキュリティポリシーに基づき電子情報安全管理対策を徹底するとともに、電子情報を取り扱う職員の意識を高めることを目的として情報セキュリティ外部監査などを実施する。
前年度までの実施内容と効果	<p>江別市情報セキュリティ基本方針制定(平成17年4月1日) 江別市情報セキュリティ対策基準制定(平成18年4月1日) 情報セキュリティ外部監査(平成18年度～ 53課実施済) ソフトウェアライセンス利用実態調査(平成23年度 全課対象) 情報セキュリティ自主点検(随時 全職員対象)</p> <p>自主点検などにより職員個々のセキュリティ意識の維持向上に努めており、これまでに実施した外部監査ではセキュリティリスクに関する重大な指摘は受けていないが、自治体として住民情報の安全管理には常に万全を期す必要がある。</p>
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み手法の見直しについて</p> <p>住民情報システムの更新(平成25年11月予定)により、今後は業務担当職員がシステムの運用・管理に積極的に携わる必要があることから、職員個々のセキュリティ意識を高めることはもちろんのこと、電子情報安全管理上システムの物理的制限を施すことが必要である。 当課が管理するPCは約1,100台あり、個別に制限を施し安全性を確保することは困難かつ非効率的であることから、セキュリティ統合管理システムを導入しセキュリティポリシーに基づいた管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ違反操作監視・分析 ・外部記憶媒体(USB・CD・FDなど)使用管理 ・ネットワーク機器不正接続監視 ・PC操作内容ログ取得・違反操作検出 ・ソフトウェアライセンス管理 <p style="text-align: right;">ほか</p>

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
情報セキュリティ外部監査		50.0	58.7	58.7			
セキュリティ統合管理システム導入 (5年総額1,253.3万円) (H25～H29債務負担行為)				7.9	7.9		
計		50.0	58.7	66.6	7.9		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	50.0	58.7	66.6	7.9		
主な増減理由(前年比)		セキュリティ統合管理システムの導入による増					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	7 計画実現に向けて
施策	2 地方分権・広域行政の推進

事業名	広域行政推進事業
担当課	企画政策部企画課企画係

目的と事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 札幌広域圏組合(構成市町村:札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村)で、圏域市町村にまたがる具体的な共同ソフト事業を実施することにより、圏域全体の行政課題の解決や圏域全体の振興を図る。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> 札幌広域圏組合では、研修・研究事業として2事業(研修事業、研究事業)、圏域振興推進事業として4事業(情報発信事業、観光振興事業、人材・文化交流ネットワーク事業、食のめぐみ推進事業)の計6事業を実施しており、圏域で連携して取り組むことで、研修や観光振興等の様々な分野において、市単独で実施するよりも効果的に事業の実施を行っている。 <主な事業内容> 研修・研究事業・・・新規採用職員研修、再生可能エネルギー調査研究事業 圏域振興推進事業・・・広報事業(地下鉄大通駅パンフレットコーナー設置、コミュニティFMラジオ出演等)、首都圏イベント出展、魅力発見まち歩き事業(ウォーキング事業)、札幌交響楽団コンサート小学生観覧、さっぽろオータムフェスト出展等 構成市町村の財政面での負担は、人口等に応じて負担している。(H24年度江別市分負担金:599千円)
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み手法の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、圏域で連携することにより圏域での行政課題解決や圏域全体の振興を図っていく。来年度以降の事業内容に関して、今後の組合の会議等において構成市町村及び事務局とで協議していくため、これまで取り組んできた事業の廃止・見直しや、新規事業の立案を検討したい。 平成25年度江別市分組合負担金:598千円(予定)

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
札幌広域圏組合負担金		60.6	60.6	59.8	0.8		
計		60.6	60.6	59.8	0.8		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	60.6	60.6	59.8	0.8		
主な増減理由(前年比)							

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	7 計画実現に向けて
施策	3 開かれた行政づくり

事業名	ホームページ運営事業
担当課	企画政策部広報広聴課

目的と事業概要	市民および江別市の情報を必要としているインターネット利用者に対し、市ホームページを通じて市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供する。
前年度までの実施内容と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課からの掲載依頼に基づき広報広聴課が編集ソフトを使用してホームページ用記事を作成し、公開する。 ・ 平成23年11月デザイン変更等実施 トップページおよび「観光」「暮らし」などサブトップページのデザイン変更、「妊娠・出産」「入園・入学」「引越越し」など生活に密着した記事の早引きインデックスの新設 ・ ホームページアクセス数 平成22年度:4,530,108回 平成23年度:4,461,922回
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 新規事業または新規の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが利用しやすく、常に新しい情報が入手できるホームページをめざし、ホームページ全体の統一性を高め、更新・管理作業を簡素化する「コンテンツ管理システム(CMS)」を導入し、ホームページのリニューアルを行う。 ・ リニューアルにあたっては、年齢や障がいの有無に関わらず全ての人に使いやすいホームページにするため、音声読み上げ・文字サイズ変更などのウェブアクセシビリティ(誰もが支障なくホームページを利用できること)の向上を図るとともに、現在公開中のコンテンツを利用者に分かりやすい形で整理・分類してサイト構造の見直しを行う。 また、システムにはソフトウェアのプログラムを無償で配布しているオープンソースソフトウェアを活用する。 <p>・ ページ作成等外注経費:48.9万円 ・ 業務用ソフト購入費用:16.8万円 ・ CMS導入委託経費:676.8万円 ・ CMSシステム保守経費:36.6万円</p>

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	ページ作成等外注経費		51.0	48.9	2.1		
	業務用ソフト	14.0	13.6	16.8	3.2		
	CMSシステム導入委託経費			676.8	676.8		
	CMSシステム保守経費			36.6	36.6		
計		14.0	64.6	779.1	714.5		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他	14.0	64.6	102.3	37.7		
	一般財源			676.8	676.8		
主な増減理由(前年比)							
【増加】 CMS導入にかかる委託経費、保守経費の増							